

発行昭和37年1月5日

千代田区役所

TEL (331) 0151・8531

No.
119

千代田区報

新 年
特 集 号

賀 正



（三三〇〇〇部印刷全世帯配付）



くこどもを守る区政

の実現を期して

千代田区長 遠山 景光

新年おめでとうございます。

早いもので私が区長に就任してから二回目の正月を迎えました。

昨年、私はみなさまに「台所に直結する明るい区政」を行なうこととお約束し、「出張所単位の懇談会」「広報活動の強化」「出張所の能率化」「商工青少年ホールの新設」など

を実施してまいりました。

おかげさまで、みなさまの絶大なご協力によりまして区政も順調に進展し、ちやくちやくその実をあげておりますことを厚く御礼申し上げます。

かえりみれば、昨年は後半に至って消費経済のゆきすぎによる経済事情の悪化をきたし、外には核実験の再



住みよい、働きよい

街の建設に

千代田区議会 議長 藤川 豊次郎

明けましておめでとうございます。

区民のみなさまにはよい新年をお迎えになったことと、心からお喜び申し上げます。

昨年はみなさまのあたたかいご支援とご協力により、かつ理事者と一体となり千代田区政の伸展に努力した甲斐あって、きわめて円滑な区政の

発展をみましたことは、まことに一同慶にたえません。

かえりみますと、国際的には宇宙人間衛星船の成功・核爆発の実験再開また国内的には池田内閣改造・外国高官の来日などがあって私ども国民は一喜一憂しました。

このような情勢のもとに区議会は(一)

開など国際間の緊張感がもち越されたまま新しい年を迎えたのであります。私は新年を迎えるにあたり、この一年を区政の充実につくす覚悟であります。そのおもなものを申し述べますと次のとおりであります。

業

一、区民のサービス向上のための事業
「広報活動の強化」「商工振興の一層の拡充」「区役所の事務能率の改善」「国民健康保険および国民年金事業の充実」「社会福祉の法外援護活動の促進」「道路・公園の整備、街路灯の増設」など。

二、教育環境整備のための事業
「児童生徒の教材・教具の整備」

交通緩和対策 (一)自治権拡充 (二)区境界確定促進 (三)夏期施設の充実 (四)総合グラウンド設置問題などについて、活ばつな議会活動が続けてきました。さらに区内高等学校の学級増設・じん介ちゅう介の清掃促進・諸物価の騰貴の抑制に関する意見書などを関係先に提出して善処方を要望してまいりました。

今年には前述の五つの問題をさらに調査、検討して具体化し、商工観光事業・道路公園の維持管理強化・街の美化などとともに着実にこなすべく、著しい成果を取めたいと思っております。

千代田区は日本の心臓部であり首都の中心地であります。定住人口わずかに十二万人とはいえ、昼間人口六

「石炭暖房からガス暖房への切替え」「校外施設の拡充」「児童遊園の整備」「区民レクリエーションの施設整備の強化」など

これらのことに関連して、特に私は「こどもを守る区政」に主目標をおき、区の総力をあげてこどもに夢と希望をもたせるような施策に努力してゆきたいと念願しております。また、昨年来懸案となっていた「区民運動場」については今年こそ、その実現をはかりたいと考えております。以上、本年の事業の一端を紹介いたしました。今年も旧年に倍してお力添えくださるようお願いいたします。新年のご挨拶といたします。

十五万人、通過人口二百万人、法人二万を有しておりますので、住みよい街の建設ばかりでなく、働きよい街をもあわせて建設しなければなりません。

区議会は、このような事情を理事者とともに考慮しつつ常に台所に直結する明るい区政を行ない、計画的にしかも確実に一歩一歩前進して本区の飛躍的な発展を期したい所存であります。

区民のみなさまがたにおかれましては、本区の発展のために旧に倍したご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたりみなみなさまのご健康とご多幸をお祈りいたしましてご挨拶といたします。

1961年の区政アルバム

区で行なっている仕事には、区議会のことを始めとして、道路を整備したり、学校を建てたり、商業まつりをしたり、いろいろのことがあります。これらはいずれも区民の皆さんの福祉と生活の向上に結びついています。

千代田区の区政も年年充実してきていますが、

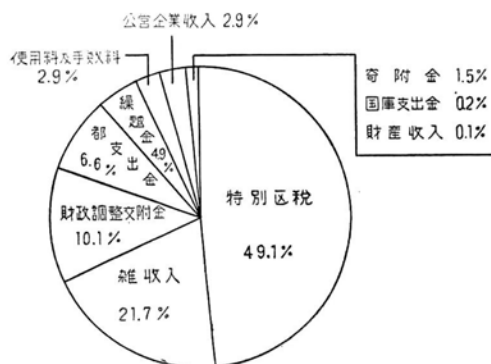
「台所に直結した明るい区政」の実現に主目標をおかれた昨年の事業はどのように進められてきたでしょうか。

本号では広報新年号として昨年中行なわれたおもしろい事業の写真を集めてみました。みなさんも一緒にふり返って見てください。

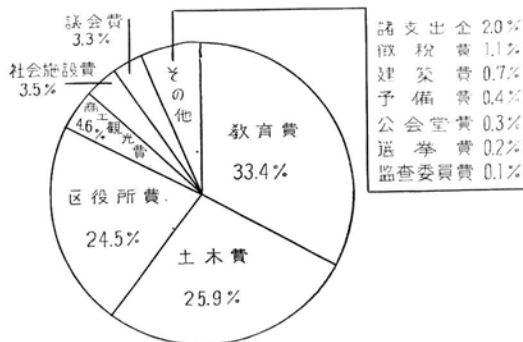
昭和36年度の区の予算（一般会計、36年12月末日現在）

総額 12 億円、土木・教育費に重点

才入

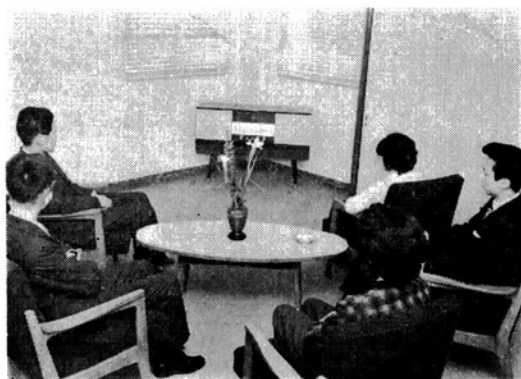


才出



特別区税	591,766,880円
公営企業収入	35,000,000円
財産収入	1,124,052円
財政調整交付金	121,567,000円
使用料及手数料	35,592,680円
国庫支出金	2,636,390円
都支出金	79,179,216円
寄附金	18,240,000円
繰越金	58,763,751円
雑収入	261,563,665円
才入合計	1,205,433,634円

議会費	40,052,753円
区役所費	294,648,871円
土木費	311,609,231円
教育費	402,464,460円
社会施設費	42,051,223円
選挙費	2,634,010円
監査委員費	931,820円
商工観光費	54,611,065円
徴税費	13,830,245円
公会堂費	3,806,557円
建築費	9,059,747円
諸支出金	24,733,652円
予備費	5,000,000円
才出合計	1,205,433,634円



商工青少年ホール完成

「千代田区商工青少年ホール」が
神田淡路町に3月完成しました。
これは区内の中小企業に働らく若
いひとたちのレクリエーション、
教養の場として無料で開放するも
ので、中にはテレビ、ピンポン台
のあるホールと自由に本をとり出
して読める読書室、それにステレ
オ電器を置いた休憩室などがあり
ます。(写真は休憩室)

4月

区内商業の発展策をはかって、区
ではじめて「こころみる」千代田区
商業まつり」が3月25日〜4月5
日、大規模に行なわれました。自
動車、オートバイなど豪華な景品
つき大売出しをはじめ、破格のね
だんでサービスする草花市、千鳥
ヶ淵公園での夜桜見物など盛りだ
くさんの行事は桜の春をかざるに
ふさわしいはなやかな催しでした。

千代田区あけて

商業まつり



保育園の事務が

区に移管

4月1日から保育園の経営・管理
に関する事務が、都から区に移管
されました。千代田区には、麹町
神田の二つの保育園があり、さっ
そく予算措置を施して、まず園内
の一せいの消毒を行ない、麹町保育
園の調理場を改修し、調理人を配
置するほか、園児の食器を全部新
しくしたり、備品類を大巾に整備
するなど、ちゅくちゅくと区移管
の実を上げています。



昭和36年の 主な事務事業	
1月	大巾な人事異動
13日	新年レクリエーション大 会
15日	新年交歓会
26日	文部大臣が錦華小の給食 室を視察
2月	商店街診断始まる
10日	区立仙石荘庭作り完了
24日	婦人学級開設
3月	臨時出納検査
15日	千代田区14周年記念式 優良従業員の表彰と慰安 大会
4月	草花市開く
1日	P・T・A費負担軽減
1日	34の路線が特別区道に 外濠川の高速度道路の工事 始まる
5日	中高層耐火建築物の建設 資金借入受け始まる
5月	福祉年金定時届受け
1日	身体障害児レクリエーシ ョン行なわれる
7日	健康優良児表彰式
8日	建築資金貸付け始まる
15日	

区議会一年の歩み

昭和35年中に開会した定例・臨時
区議会の本会議は12回、各種常任
特別委員会、各派交渉会などあわ
せて二四回である。
本会議で議決した条例・予算・寄
付受領・意見書などは83件、教育
委員・監査委員の選任同意など4
件、このほか請願・陳情などの取
り扱い件数は29件であった。
議会活動中主なものあげれば、
交通緩和対策、自治権拡充、千代
田中央区境界確定促進、夏期施設
の充実などである。
交通緩和対策 本区を縦断する高
速道路4号線・5号線がすでに
首都高速度路公団によって計画
され、着工も間近かなので、そ
の説明会を開いたのち、検討を
重ね、意見書や質問書を提出し
さらに本区交通緩和をはかる
ために、関係当局に対してその
善処方を要望した。
自治権拡充について 日常生活に
直結する身近な事務は、手輕
に区役所で処理できるように、
特別区事務の拡大移譲と区長公
選を中心とした22区議会と共に
数次にわたって運動をしてきた。
この成果は道路の管理・維
持、保育園の区移管となつてあ
らわれた。
千代田・中央区境界確定促進
丸の内1丁目地先の外濠埋立地
すなわち土橋から呉服橋に至る
までの区境を確定するために、
たびたび中央区議会と協議会を
開いて調査・検討してきた結果
解決の見通しも明るくなつてき
た。
夏期施設の充実 児童・生徒の健
康と福祉増進をはかるため、海
や山の大自然に接する機会を与
える夏期施設の充実に努力し、
特に施設の候補地については数
回にわたって調整し、協議を行
なつた。
その他 マ区立小・中学校、道路、
公園、商店街、厚生施設などを
視察し、その改善強化を常に理
事者に要望して、その実現をは
かつた。マ区民のレクリエーシ
ョン・体育振興のための総合グ
ラウンド設置、じん介・ちゅう
介などの清掃促進、急を要する
高等学校の増設、諸物価の値上
げ抑制などについて検討し、区
民の信託にこたえるため、最善
の努力を続けた。

1月

成人の日祝い

新春家族大会

一九六一年のはじめての行事と
して、1月15日、成人の仲間入
りをする区内の若いひとびとを
九段会館に招き、成人の日を祝
う新春家族大会を開きました。
当日一、四〇〇人余りの若人が
集まり、作文「はたちの声」入
選作の発表の後、落語・映画な
どでくつろいだひとときを過
しました(写真は表彰をうける
作文入選者石川アエさん)

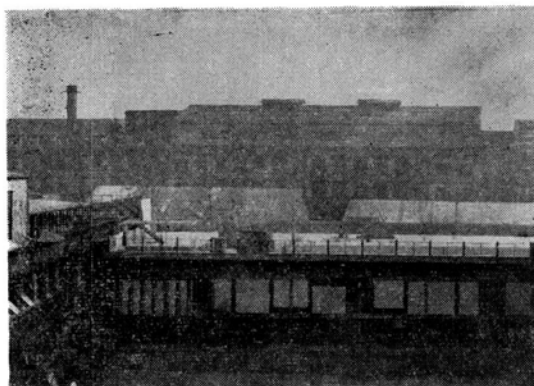


3月

区民の声を聞く
区政懇談会開催

遠山区長の理想である「台所に直
結する明るい区政」の実現をはか
つて、区民の声を区政の上に反映
させようと、3月末から4月にか
けて、6か所の区民館を巡回して
地域別区政懇談会が開かれました。
延べ二五〇人の区民から出た意見、
要望は一九七件にわたり、その中に
はさつそく新年度予算に盛り込まれ
て実現をみたものもあり、大きな成
果をおさめました。





建築3大工事

-九段中学校プールと擁壁.....
-一橋中学校体育館兼講堂.....
-番町小学校体育館兼講堂.....

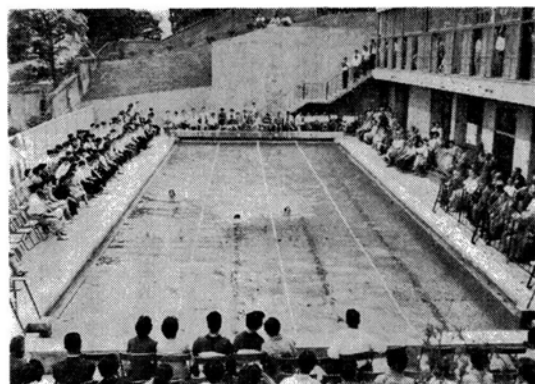


写真 上が一橋中学校体育館兼講堂

下が九段中学校プール、右側に新築の
教室が見える。

本年の建築事業で最も目立つものは、第1に一橋中学校屋内体育館新築、第2に九段中学校擁壁とプール新設、それに番町小学校講堂兼体育館新築があげられるでしょう。いずれも、限られた敷地を最大限に利用したもので、一橋中屋内体育館は屋上にプールのある日本でも珍らしいもの。九段中は、がけに築いた擁壁を利用して教室を新築し、また番町小の体育館は、建物の下が運動場として使えるようにしたピロティ方式のものです。



新生活運動

皇居前清掃

10月1日都民の日に、区民の有志三〇〇人と小学校児童二〇〇人が参加して、皇居前清掃が行なわれました。これは千代田区の新生活運動の手にじめに行なわれたものですが、遠山区長、武川助役はじめ区の理事者も先頭に立ち、以後毎月1回、第1日曜日に区民有志による早朝の奉仕として続いています。

建築事業

都市再開発の具体化

都心地区の共通した悩みとして、居住条件の悪化などの現象が年ごとに深くなっています。このため建築物の高層化（高度利用）に拍車がかかれ、本区でも数年前から中高層建築相談の相談窓口を設け、区民のよりよい環境を作るため、各種の相談に応じています。昭和32年度から昭和35年度間の住宅金融公庫の中高層耐火建築建設資金借入れの実績をみると、二三四棟、延面積は約一萬六千平方メートル、昭和36年の申込み結果は58件四億四千万円余りになっています。

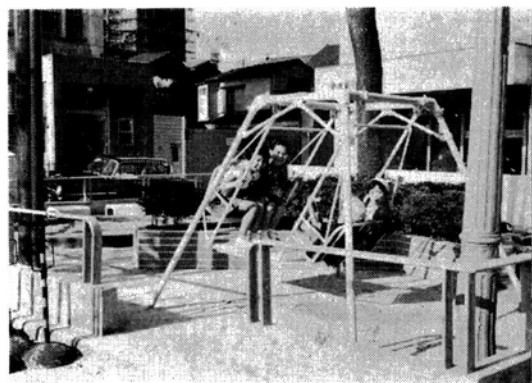
本年6月には防災建築街区造成法が公布されましたが、本区の特殊事情にあった都市再開発という問題に直面して、漸次新しい街づくりの諸方途を考えて実施してきました。

また本年は老朽鉄筋校舎の造改修を行なう、九段、一橋中学校や番町小学校の講堂兼体育館やプール新設など、予算の許す範囲で建築しましたが、いずれも近代建築の粋を集めた立派なものです。

区内出張所はみな木造ですが、おいおい不燃化をはかるための計画を立てています、本年は番町出張所の工事にかがっています。

神田鎌倉町に 児童遊園完成

神田鎌倉町18（元竜閑橋あと）に鎌倉町児童遊園が、9月22日に完成しました。ビルの谷間にできたかわいらしい児童遊園ですが、遊び場に恵まれない附近の子どもたちは大喜び、区内にはこれで24の児童遊園ができたわけです。このほか、神田司町にある神田公園をこどもの遊園地到大改修する計画が現在進められています。



名物化する

神田古本まつり

「古本まつり青空掘り出し市」が読書週間中の10月29日から1週間神田神保町交差点角の空地で区役所と神田古書店連盟共催で開かれました。日ごろ店頭になじみず本が陳列されるばかりでなく、ねだんの方も格安とあって、連日満員の盛況。古本の町として由緒ある神田でのこの催しは、今後神田の名物となることでしょう。



「老人のつどい」 はじまる

区内のおとしよりに、楽しいレジャーの場を提供する「老人のつどい」が、区のはじめての事業として登場しました。各区民館を毎月1回開放して、そこで自由に楽しんでいただくという趣向で、碁、将棋などの設備もあり、ときには芸能人による民謡指導や慰安会なども行ないます。10月からはじめられすでに18回開かれました。



民生事業

保育園も区へ移管

本年10月には国民年金法の一部改正が行なわれ、いよいよ社会保障の制度が充実し、区でも年金厚生課を設けて検認事務を行なうことになりました。

また、民生事業についても、区の重要施策の一つになっており、4月には保育園が都から移管され、また12月には母子家庭に対する社会保障制度の一環として、児童扶養手当を支給するための窓口事務を取り扱うことになるなどその事務事業も漸次拡充されてきました。

とくにこの5月、9月には身体障害児のレクリエーションの実施、10月からはお年寄りの団らんのかたまりとして企画された「老人のつどい」が各区民館ではじめられるなど多くの新しい事業と催しが行なわれました。

7月の社会を明るくする運動の映画会、9月の敬老会、10、11月の困窮世帯、身体障害者慰安会なども盛会のうちに終了しました。

その他、生業資金、奨学資金の貸付け額もふえ、多くのひとに利用されています。

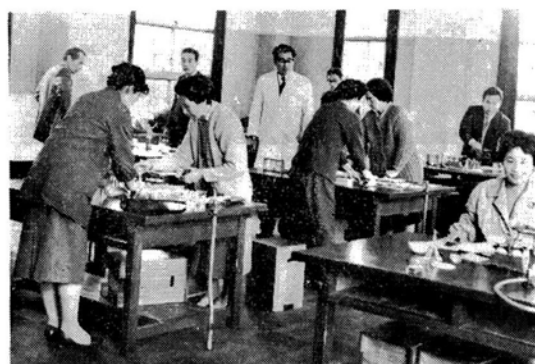
スポーツの秋飾る中学校連合運動会



秋のスポーツシーズンを飾る区立中学校連合運動会が、11月2日、都営小石川グラウンドで、5校七、二〇〇人の生徒が参加して、はなやかに行なわれました。

各校選手によるわくわくしい競技を展開した末、九段中学校が5年連続優勝を成しとげました。

科学教育充実めざし 研修にはげむ先生たち



科学技術教育の高揚は、いまの教育界の最大関心事です。国際社会に伍してわが国が高い地位を占めるには、どうしても科学技術の先端に立たねばなりません。それには初等教育での科学教育の充実が先決です。

千代田区の先生たちはこういう課題にこたえて、自らの理科研修にはげんでいます。



12月

区内の児童遊園を巡回して行なう野外こども会は、ことしは通算一二〇回開き、延べ七〇〇〇人を越えるこどもたちが集まりました。

夏の盛りには涼しい木陰ですいか割り、冬のクリスマス・シーズンには暖かい日だまりでクリスマスこども会など、こどもを楽しませるためにいろいろ目先を変えて行なっています。

各児童遊園で 野外こども会

区内の児童遊園を巡回して行なう野外こども会は、ことしは通算一二〇回開き、延べ七〇〇〇人を越えるこどもたちが集まりました。

教育活動

全校にモダンな調理室

本年は特に次の2項目に重点を置き教育活動を実施しました。

一、教育施設の改善と充実

▽一橋中、番町小に最新式の体育館兼講堂が完成。九段中と一橋中にすばらしいプールを完成しこれで区立の全小中学校がプールをもつことになりました。

▽教室の照明、暖房をそれぞれ蛍光灯、ガスストーブに転換する計画をたて、その一部が実現しました。また机と腰かけを見直し生徒の体位向上に合わせ高いものに改めることになりました。

▽給食施設の第2次改善工作が全部完了し、最新式を誇る調理室を全小学校がもつことになりました。

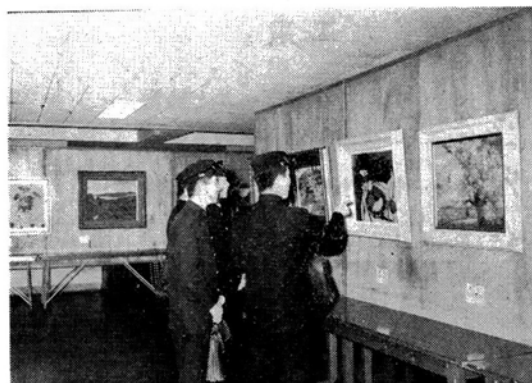
▽延五、七〇二人の児童生徒を収容して夏季施設を実施し、またスクールバスを活用して延一五、〇〇〇人以上におよぶ見学、農園作業を行ないました。

二、教育内容の改善と向上施策
▽今川中(園工)ほか5校を研究協力学校とし、各部門にわたって研究を進めています。

▽科学センター、番町小と練成中に置き児童生徒対象の講習会は20数回におよびました
その他児童相談なども実施しました。

図書館で名画展開く

千代田図書館のはじめての事業として、10月31日と11月1日の2日間、同図書館ホールで洋画名作展を開き、宮田重雄氏、向井潤吉氏、猪熊弦一郎氏の作品21点を展示しました。このほか図書館では、区民文庫相談室を開設したり、新聞雑誌ホールを新設するなど、利用者の便宜を考えて館内の諸施設を改善しました。



公明選挙啓発

ポスター・コンクール

千代田区選挙管理委員会では、公明選挙運動の一環として、啓発ポスターを広く区内小・中学校児童から募集したところ、三三二点の出品作がありました。この中から10月12日、区役所で審査会を行ない、小学校10点、中学校10点の優秀作品を選んで、東京都大会に出しましたが、永田町小5年横田理恵子さんが佳作に入選しました。



11月

区民サービス向上に 事務を機械化

戸籍係の窓口で、戸籍の謄・抄本や諸証明の交付をうけると、申請するひとの不便を解消するため戸籍課ではレジスター(金銭登録機)を買いいれ、11月1日から使用をはじめました。これによって、謄・抄本や諸証明の交付と同時に、その場で手数料がおさめられるようになり、わざわざ収納係まで足を運ばずに済むようになりました。

このほか、12月には、区役所の電話が自動交換機に切替えられ、事務の機械化が進んでいます。



戸籍事務

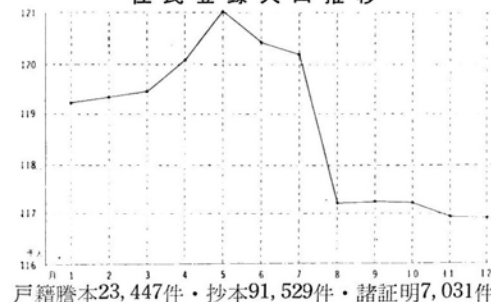
年々ふえる戸籍人口

新憲法によって夫婦を単位とする戸籍の改製事務は、昭和34年にその第1次改製をおえ、現在三三、三七七人のひとにかかると第2次改製事務を行なっており、昭和38年3月には完了する予定です。

一般戸籍事務については、専用タイプライターやレジスターを購入して、区民サービスの合理化、能率化をはかっています。

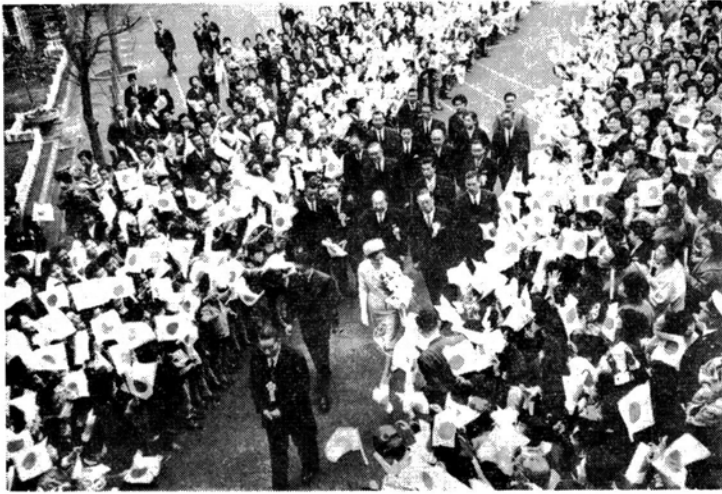
住民登録人口は昨年から2千人余り減っているのに反して戸籍人口は逆に千四百人ほどふえて二二二、四九六人です。グラフ下の数字は11月までに扱った届書の件数ですが年々ふえています。

住民登録人口推移



皇太子ご夫妻をお迎えして

番町小で創立90周年を祝う



創立90周年の伝統にかがやく区立番町小学校では、12月4日、皇太子殿下ご夫妻をお迎えして、盛大な創立記念式をあげました。同校の児童は両殿下がいっしょになるとあって大喜び、幼稚園児もまじえて全校あげて、日の丸の小旗を手に手に校門、校庭でお迎えし、これに対し両殿下もにこやかにこたえておられました。

三笠宮さまをお迎えして

楽しいフォークダンス

暮れもおしつまった12月22日に、区役所・教育委員会・体育協会の共催による「フォークダンス大会」が、一ツ橋国民体育館で開かれました。日本レクリエーション協会総裁三笠宮両殿下も一緒に、明るく装飾された会場の中で、踊りのひとときをすごされました。参加者は約三〇〇名で、軽快なリズムに合わせて踊る色とりどりの絵巻は、本年の最後を飾るにふさわしい楽しい催しでした。



区民税

1人あたり五、一六二円

特別区税には特別区民税（住民税）、特別区軽自動車税および犬税の3種の税がありますが、本年度課税した金額の合計は六億二、四〇一万円です。その大部分を占める特別区民税は六億一、七二九万円です。これは区民1世帯あたり二万三、六一五円、1人あたり五、一六二円となり、前年度に比較して1世帯あたりで四、六四〇円、1人あたりでは一、〇八一円の増加となっています。

このような区税は歳入予算額の五一・七%を占め、教育、土木その他の事業に有効に使われております。

区内には納税貯蓄組合は一一五組合、その他の組合員数は七、〇八四人にのぼっており、これらの組合に対して本年は既に一四九、二四〇円を交付しました。

なお、特別区民税の普通徴収分には「納期限前納付に対する報奨金」の制度があります。その期の納期限内にまだ納期のきていない分もあわせて納税すると報奨金をさしあげることになっていますが、この利用者は本年度既に延一、九一五人に達し、さしあげた報奨金は九八四、三二六円におよんでいます。